

ヤングケアラー実態調査の実施について

潜在しているヤングケアラー（一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話等を日常的に行っている 18 歳未満の子どものこと。）の実態を正確に把握し、必要な支援につなげる対応策に取り組むことを目的として、令和4年9月14日から10月14日まで、ヤングケアラーの実態調査を実施しました。

1 調査概要

(1) 調査対象

	対象者数
区立小学校に通う全児童	約 10,350 人
区内在住の中学生及び高校生	約 10,630 人
高齢者・障害者・子育ての支援に関わる事業所	約 360 事業所

(2) 主な調査項目

- ア 小学生、中学生、高校生
学校等への出席状況、日常生活の悩みごと、世話をしている家族の有無、ケアの状況等
- イ 高齢者・障害者・子育ての支援に関わる事業所（区立小・中学校を含む）
ヤングケアラーの認知度、ヤングケアラーに該当する子どもの有無、ケアの状況、支援ニーズ等

(3) 調査方法

- ア 区立小・中学校に通う児童・生徒
学校で学級活動等の時間に、学習用タブレット端末を利用して回答
- イ 上記ア以外の区内在住の中学生、高校生
郵送で依頼し、紙媒体又はオンラインで回答
- ウ 高齢者・障害者・子育ての支援に関わる事業所
郵送又はメールで依頼し、紙媒体又はオンラインで回答

2 スケジュール（予定）

令和5年3月上旬 結果公表